

医薬品開発のためのパートナーシップ各機関が国際保健のイノベーションを促進する 日本初の官民パートナーシップを称賛

[2013年4月8日] 国際保健の新しいツールの発見、開発と普及を目的とする医薬品開発のためのパートナーシップ機関（PDPs）である我々は、本日東京で発表された一般社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）の正式な発足に称賛を送ります。日本政府、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と民間の製薬会社各社による新しい官民パートナーシップは、低・中所得国に圧倒的に多い疾病に対応するために日本国内でイノベーションを促進、動員することを目的としています。

GHIT Fund は、国際保健分野における既存の重要な政策を補完し、また、長期的な解決策である、主に途上国で何百万人もの人々を襲う疾病との戦いに急務であるツールの開発へのコミットメントを示すものです。

新しい医薬品の必要性は明白です。毎日2千人以上の子どもたちが下痢性疾患によって死亡、2千人の主に子どもたちがマラリアで命を落とし、そして8百人の女性が妊娠や出産が原因で死亡しています。そして、毎日7千人もの方が HIV に感染、2万4千人が結核に罹っているのです。さらに、いわゆる顧みられない熱帯病は世界の最も貧しい十億人以上の人々を襲っています。

GHIT Fund は、世界の人々のための薬やワクチン、そのほかの予防や診断ツールを研究開発そして普及させる革新的な技術の推進をめざし、世界でもトップクラスの日本の研究プログラムとグローバルな PDPs 等とのパートナーシップを促します。PDPs は、主に途上国に見られる疾病であるためこれまで市場がなかった医薬品技術の開発を進めその普及を可能にするために、公共セクターと民間セクターをつなげる非営利組織です。PDPs は医薬品の研究開発工程の効率を改善し、財政的なリスクを軽減することによってそれを成し遂げます。今日、広範囲にわたる途上国の疾病や国際保健の緊急事態に対応する150品あまりの医薬品の開発に PDPs は携わっています。それには、エイズ、マラリア、結核、シャーガス病、デング熱、リーシュマニア症、アフリカ睡眠病、そして母子保健などが含まれます。

新たに設立された GHIT Fund は、国際保健の課題解決へ日本発のイノベーションを適用することで、PDPs の活動に必要な新たな支援を提供するものです。

GHIT Fund に関する詳細は[こちら](#)をご覧ください。

この声明文は以下の PDPs が共同で発表しました（同不順）

AERAS | Advancing Tuberculosis
Vaccines for the World
www.aeras.org

DNDi
Drugs for Neglected Diseases *initiative*
www.dndi.org

 **iavi**
International AIDS
Vaccine Initiative
www.iavi.org


www.idri.org

MMV 
Medicines for Malaria Venture
www.mmv.org

 **PATH**
www.path.org

 **SABIN**
VACCINE INSTITUTE
www.sabin.org

 **TB ALLIANCE**
GLOBAL ALLIANCE FOR TB DRUG DEVELOPMENT
www.tballiance.org